

# 成果説明書



## 【政策 5 : 生活基盤整備】

### 安心して快適に暮らせるまち

【施策 5-1】 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

【施策 5-2】 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

【施策 5-3】 安全な水道水の安定供給と持続的な安定経営を進めます

【施策 5-4】 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます



## ◆ミッション

人口減少、少子高齢化の進展による社会構造の変化に対応した多極ネットワーク型コンパクトシティによるまちづくりを推進し、市内全域の利便性を高めるとともに、昨今、多発する自然災害対策に積極的に取り組み、地域防災力の向上を図ることで将来にわたって市民が安心して快適に暮らせるまちづくりを進める。

- ◎公共交通ネットワークで結ばれた、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進める。
- ◎効率的で効果的な社会基盤の整備を進める。
- ◎災害に強いまちづくりを進める。

## ◆方 針

◎公共交通ネットワークで結ばれた、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進める。

利便性の高い都市づくりのため、公共交通の利便性が高い小諸駅・市庁舎周辺地域において、生活に欠かせない都市機能施設の集約・誘導を、様々な主体との公民連携により取り組むとともに、市内のコミュニティ交通の改善や広域的な幹線交通の維持に努め、持続可能な交通ネットワークの構築を行う。

そして、「居心地のよい、ひらかれた」付加価値の高い都市づくりに向け、都市機能施設の有機的な連携と、外出機会の創出につながる公共交通の利用促進に取り組む。

◎効率的で効果的な社会基盤の整備を進める。

市民の生活に欠くことのできない道路や橋梁等の整備・修繕は、将来にわたる持続可能性を考慮した長寿命化計画に沿って着実に進めるとともに、社会基盤の整備を行うことにより移住・定住の促進を図る。

公民共同企業体「株水みらい小諸」への一部業務委託による上水道事業は、民間事業者のノウハウを活用しつつ業務管理を厳格に行うことで、安全で良質な水の安定供給と事業の安定経営を維持する。

◎災害に強いまちづくりを進める。

災害発生時には、人命を保護することが最も優先されなければならない。今後発生しうる大規模自然災害に備えて、限られた資源で効率的・効果的に強靱化を図るとともに、自身の安全を守る「自助」、地域のつながりを大切に助け合い「共助」の意識を高めるため、関係機関の連携強化と住民意識の高揚を図る。

政策 5	生活環境整備
施策 5-1	多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

所 管	都市計画課
関 連	施設管理室
関 連	高齢福祉課
関 連	商工観光課
関 連	—
関 連	—

#### ◆現状と課題

立地適正化計画に基づき、利便性が高く、多様性に富んだ活動や交流を促進する、新たな都市づくりへの転換に向け、「複合型中心拠点誘導施設」の整備など、利便性の高い拠点形成を図るとともに、交通ネットワークの構築に向け、高齢者を中心に利用が広がっている「こもろ愛のりくん」の持続可能な運行への改善を行う必要がある。  
 そして、利便性に加え、“居心地のよい、ひらかれた”都市としての付加価値を高めるため、都市機能施設の有機的な連携と、外出機会の創出につながる「こもろ愛のりくん」の利用促進等に取り組む必要がある。

#### ◆方針

##### 目的

利便性の高い拠点形成のため、令和3年8月供用開始に向け、「複合型中心拠点誘導施設」の整備を着実に進めるとともに、民間投資を意識した、都市機能施設の誘導を公民連携により取り組む。また、交通ネットワークの構築に向け、市内の公共交通においては、「こもろ愛のりくん」の利便性と効率性の両立を図るよう、他の公共交通や市民主体の移動サービスとの連携を図りながら、運行改善を実施するとともに、広域的な公共交通においては、鉄道・バス等の幹線交通の維持のため、引き続き、運行事業者との連携・支援を行う。そして、“居心地のよい、ひらかれた”新しい都市づくりとしての付加価値を高めるため、公園や文化施設、駅施設などの公共的空間の活用と、外出機会の創出につながる「こもろ愛のりくん」の利用浸透策を包括的に実施する。

#### ◆令和2年度重点方針と目標

- 多極ネットワーク型コンパクトシティの形成推進に向け、複合型中心拠点誘導施設基本計画に基づき、整備事業を着実に進める。
- 複合型中心拠点誘導施設内の各施設が有機的に連携しあう運営・管理により、利用者にとって利便性の高い施設となるよう事業を推進する。
- コンパクトシティの拠点となる小諸駅周辺地域の価値・可能性が高まり、民間による都市機能及び居住誘導が促進されるよう、関係各課及び関係団体等と連携した研究を行い、公民連携の取り組みに繋げる。
- 集約駐車場、有料駐車場の適正な運営管理を推進する。
- 市内全域の都市計画道路の見直しを進める。
- 「こもろ愛のりくん」の利用者登録のさらなる拡大を図るとともに、「愛のりすみれ号」を含めたコミュニティ交通の運営経費・受益者負担等のあり方を検討する。
- 持続可能なコミュニティ交通の構築に向け、利便性・効率性の両立を図るための運行改善を行う。
- 幹線的な公共交通（鉄道・幹線バス）について、沿線自治体と協議を行い利便性の確保を図る。

#### ◆目標

・目標の計画と達成状況

##### 計 画

- ①公共交通の利便性が高い、小諸駅・市庁舎周辺地域において、様々な市民生活での利用が高まっている状態。
- ②交通ネットワークの構築に向け、「こもろ愛のりくん」が、利便性と効率性とを両立して運行している状態。
- ③小諸駅・市庁舎周辺地域における公共的空間の活用と、外出機会の創出につながる「こもろ愛のりくん」の利用浸透策の実施が包括的に行われ、“居心地のよい、ひらかれた”都市づくりへの転換が進んでいる状態。

◆実績

令和2年度実績

○国の宅地耐震化推進緊急対策事業に基づき、大規模盛土造成地に係る第二次スクリーニング計画の策定に着手した。  
 ○令和2～3年度債務負担行為事業、複合型中心拠点誘導施設「こもテラス」整備工事に着手し、予定どおりの建築工事進捗が図れた。  
 ○令和元年度繰越事業、相生町交差点改良事業について、物件移転補償、改良工事等事業が完了した。  
 ○大手門公園整備について、計画上未整備となっていた旧竹内木材駐車場の補助事業による用地取得を実施、年度内に整備工事に入ることができた。  
 ○地域公共交通として、コロナ禍においても「こもろ愛のりくん」「愛のりすみれ号」の感染防止対策を講じた通常運行を行うことができた。  
 ○「こもろ愛のりくん」を中心とした、市コミュニティ交通の見直しについて、今後の公共交通の考え方、運行改善案について、市民の意見を集約しながらまとめることができた。  
 ○地域公共交通に関して、MaaS事業分野で先進する民間企業と公共交通事業を研究する場がスタートした。  
 ○地域幹線交通であるしなの鉄道に対して、新型車両更新に係る負担金、新型コロナウイルス感染症対策緊急支援負担金等の支援を行った。  
 ○小諸駅、大手門公園駐車場について、適正な維持管理が図れた。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	小諸駅・市庁舎周辺地域におけるこもろ愛のりくんの利用割合						
設定理由	小諸駅・市庁舎周辺地域において、様々な市民生活での利用が高まることにより、「こもろ愛のりくん」による利用割合が増えるため。【小諸駅・市庁舎周辺地域の利用頻度①】						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		平成2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	22.6 %	計画	23.0	30.0	35.0	40.0	
		実績	21.6				
指標名	小諸駅・市庁舎周辺地域における市営駐車場の1日の駐車台数						
設定理由	小諸駅・市庁舎周辺地域において、様々な市民生活での利用が高まることにより、市営駐車場の駐車台数が増えるため。【小諸駅・市庁舎周辺地域の利用頻度②】						
算式						単位	台
目標値	計画策定時		平成2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1,510	計画	1,510	2,000	3,000	3,000	
		実績	1,196				
指標名	こもろ愛のりくんの年間利用者数						
設定理由	こもろ愛のりくんの利便性が向上すれば、利用者数が増加するため。【こもろ愛のりくんの利便性と効率性の両立①】						
算式						単位	人
目標値	計画策定時		平成2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	54,145	計画	55,000	56,000	58,000	60,000	
		実績	45,724				
指標名	こもろ愛のりくんの収支比率						
設定理由	こもろ愛のりくんの利便性が向上し、利用者数が増加するとともに、効率化を進めることにより、収支比率が改善され、利便性と効率性の両立が図られるため。【こもろ愛のりくんの利便性と効率性の両立②】						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		平成2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	13.0	計画	14.0	20.0	22.0	25.0	
		実績	11.2				
◆目標の実現に向けた今後の取り組み						今後の方針	維持

○大規模盛土造成地等宅地の安全性の把握と今後の事業計画をまとめる。  
 ○複合型中心拠点誘導施設「こもテラス」の整備を完了する。  
 ○多極ネットワーク型コンパクトシティの拠点である、小諸駅・市庁舎周辺地域において、官民連携による拠点づくり、また、拠点形成につながる活動や事業を推進する。  
 ○大手門公園最終工区の整備を完了させるとともに、大手門公園、あいおい公園ほか都市公園の官民連携による有効活用を推進する。  
 ○持続可能な市コミュニティ交通の構築に向け「こもろ愛のりくん」の運行改善を実施する。  
 ○「こもろ愛のりくん」コールセンターの「こもテラス」移転を適切に実施する。  
 ○「こもろ愛のりくん」の運行改善に伴い、併せて、様々なニーズに柔軟に対応する試験運行を検討し実施する。  
 ○市コミュニティ交通におけるMaaS事業の研究と実証実験に積極的に取り組む。  
 ○「こもろ愛のりくん」の包括的な利用浸透策を検討し実施する。  
 ○周辺市町を結ぶ鉄道等幹線的な公共交通の維持・利便性の確保に継続して取り組む。

◆個別計画

都市計画マスタープラン／立地適正化計画／地域公共交通網形成計画

◆特記事項

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-1 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
都市計画総務費運営費		継続	4			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・3都市計画費・1都市計画総務費		都市計画課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画制度に基づく都市計画の決定、変更</li> <li>小諸市都市計画審議会の運営</li> <li>小諸市景観審議会の運営</li> </ul>					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	22,778 千円	2,973 千円	5,184 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	1,100 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	323 千円	
一般財源		22,778 千円	2,973 千円	3,761 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	小諸市都市計画審議会の開催回数	回	計画	4	4	4
			実績	2	0	0
	小諸市景観審議会の開催回数	回	計画	2	2	2
実績			0	0	0	
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模盛土造成地に係る第二次スクリーニング計画の策定に着手した。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模盛土造成地等宅地の安全性の把握と今後の事業計画をまとめる。</li> </ul>						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-1 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
都市再生整備計画事業		継続	1			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・3都市計画費・3街路事業費		都市計画課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小諸宿周辺地区都市再生計画事業(第4期)H30年度～R2年度</li> <li>複合型中心拠点誘導施設整備(福祉施設、コミュニティ交通ターミナル、商業施設、公共駐車場)</li> <li>道路改良工事(市道1013号線)</li> </ul>					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	342,802 千円	350,308 千円	1,230,715 千円	
		地方債	120,516 千円	195,106 千円	207,282 千円	
		その他	139,200 千円	134,000 千円	497,500 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		83,086 千円	21,202 千円	525,933 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	相生町商店街の歩行者数	人	計画	1,200	1,250	1,300
			実績	1,333	1,239	1,095
	本町通りの歩行者数	人	計画	584	608	630
実績			489	413	338	
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>複合型中心拠点誘導施設(こもテラス)建築工事中。令和3年7月末竣工予定。(公共施設棟8月オープン予定、商業施設棟10月オープン予定。)</li> <li>大手門公園6工区の用地買収が完了し、整備工事着手。令和3年9月末竣工予定。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> <li>複合型中心拠点誘導施設(こもテラス)について、引き続き関係機関と工事定例会議を実施し、令和3年7月末の竣工を目指す。</li> <li>大手門公園整備工事について、令和3年9月末の竣工を目指す。また、大手門公園とあいおい公園ほか都市公園の官民連携による有効活用を推進する。</li> <li>多極ネットワーク型コンパクトシティの拠点である、小諸駅・市庁舎周辺地域において官民連携による拠点づくり、また、拠点形成につながる活動や事業を促進する。</li> </ul>						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-1 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
相生町交差点改良事業		継続	—			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・3都市計画費・3街路事業費		都市計画課	1:無			
事業概要	市道1001号線道路改良工事					
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別事業費		0千円	137,268千円	45,905千円	
	特定財源	国・県支出金	0千円	0千円	26,107千円	
		地方債	0千円	0千円	2,000千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	
一般財源		0千円	137,268千円	17,798千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	相生町商店街の歩行者数	計画	人	1,200	1,250	1,300
				実績	1,333	1,239
		計画				
			実績			
令和2年度 実績			特記事項			
令和3年3月に竣工。						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	廃止
事業完了。						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-1 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
市営駐車場管理事業		継続	2			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・3都市計画費・5交通政策費		都市計画課	1:無			
事業概要	市営小諸駅駐車場及び市営大手門公園有料駐車場における、適正な点検・管理による利便性の確保					
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別事業費		5,539千円	5,498千円	5,701千円	
	特定財源	国・県支出金	0千円	0千円	0千円	
		地方債	0千円	0千円	0千円	
		その他	5,539千円	5,498千円	5,701千円	
一般財源		0千円	0千円	0千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	駐車場施設の定期点検回数	回	計画	12	12	12
			実績	12	12	12
	緊急連絡機器の定期点検回数	回	計画	12	12	12
			実績	12	12	12
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な点検を行ない、概ね良好な状態に保つことが出来た。</li> <li>利用台数の前年比は 駅前70% 大手門106%、収入額の前年比は 駅前49% 大手門101%となった。</li> <li>駅前駐車場は、複合型中心拠点誘導施設建設工事に伴う工事関係者駐車場として、一部区間を貸出。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前駐車場貸出 面積A=909㎡(50区分)、令和2年5月～(令和3年7月15まで)</li> </ul>			
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な維持管理を行うため、直営でのパトロールを実施する。</li> <li>駐車台数、収入額等のデータを取り分析する。</li> <li>利用者への利便性の確保のため、駐車場施設の点検を徹底する。</li> <li>時間帯によっては空きスペースが目立つため、利用方法等について効率化の検討をする。</li> </ul>						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-1 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
集約駐車場管理事業		継続	3				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・8土木費・3都市計画費・5交通政策費		施設管理室	1:無				
事業概要	市営中央地下駐車場(第1駐車場)・市営中央西側駐車場(第2駐車場)・市営赤坂駐車場(第3駐車場)における、適正な点検・管理による利便性の確保						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	19,509 千円	20,060 千円	18,666 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	13,696 千円	14,095 千円	12,608 千円		
一般財源		5,813 千円	5,965 千円	6,058 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	駐車場施設の定期点検回数	回	計画	4	4	4	
			実績	4	4	4	
	駐車場内の緊急対応可能日数	日	計画	365	365	365	
実績			365	365	365		
令和2年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場利用者の利便性を確保するため、管制機器及びエレベーター等の保守点検、駐車場内の誘導・補助作業、24時間体制によるトラブル対応等を実施した。</li> <li>・こもろ医療センターとの連携会議を開催した。</li> </ul>							
<p style="text-align: center;">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>市庁舎周辺駐車場の管理業務については、令和4年度より新たに庁舎等建物管理業務委託の中に追加し、市庁舎・こもろプラザ・こもテラス等との一体的な管理運営による業務の効率化、適正化の向上を図る。このため、当事業は令和3年度までで廃止とし、「庁舎管理費」に統合する。</p>						今後の方針	廃止(統合)

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-1 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
交通政策費運営費		継続	2				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・8土木費・3都市計画費・5交通政策費		都市計画課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しなの鉄道活性化協議会等への負担金の交付</li> <li>・千曲バスへの補助金の交付</li> <li>・JR小海線三岡駅及び美里駅のトイレや駐輪場の維持管理</li> <li>・小諸高等学校、水明小学校のスクールバス運行</li> </ul>						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	44,317 千円	40,000 千円	86,148 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	1,100 千円	45,000 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		44,317 千円	38,900 千円	41,148 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	小諸駅(しなの鉄道)の年間乗降客延べ人数	人	計画	1,190,000	1,190,000	1,190,000	
			実績	1,141,256	1,062,271	765,509	
	小諸駅(JR)の年間乗降客延べ人数	人	計画	540,000	540,000	540,000	
実績			661,262	599,103	471,637		
令和2年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・しなの鉄道小諸・軽井沢間の増便事業を沿線3市町(小諸市、御代田町、軽井沢町)で実施した。</li> <li>・千曲バス・佐久上田線の運行支援を長野県および沿線4市(上田市、東御市、小諸市、佐久市)で実施した。</li> <li>・しなの鉄道新型車両導入等鉄道設備整備の負担を実施した。</li> </ul>				R1~R9しなの鉄道車両更新(9年間 負担額合計 1億4千万円余)			
<p style="text-align: center;">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>・周辺市町を結ぶ鉄道等幹線的な公共交通の維持、利便性の確保に継続して取り組む。</p>						今後の方針	維持



政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-1 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
公共交通事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・3都市計画費・5交通政策費		都市計画課	2:有			
事業概要	予約制相乗りタクシー「こもろ愛のりくん」と定時定路線「愛のりすみれ号」を基本としたコミュニティ交通の運行と改善					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	81,927 千円	83,164 千円	76,741 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	592 千円	536 千円	
		一般財源	81,927 千円	82,572 千円	76,205 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	コミュニティ交通利用者数(延べ人数)		計画	88,000	89,000	90,000
			実績	74,664	68,041	56,862
	こもろ愛のりくん、愛のりすみれ号の乗車率(%)		計画	39	40	40
			実績	33.8	32	27.4
令和2年度 実績			特記事項			
・利便性の向上と効率化を両立するよう、方針をまとめた「市コミュニティ交通の基本的な考え方」を公表した。						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な市コミュニティ交通の構築に向け、「こもろ愛のりくん」の運行改善を実施する。</li> <li>・「こもろ愛のりくん」コールセンターの「こもテラス」移転を適切に実施する。</li> <li>・「こもろ愛のりくん」の運行改善に伴い、併せて様々なニーズに柔軟に対応する試験運行を検討し実施する。</li> <li>・「こもろ愛のりくん」の包括的な利用浸透策を検討し実施する。</li> </ul>						

事務事業名				新規・継続	
都市計画総務費給与費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・8土木費・3都市計画費・1都市計画総務費				都市計画課	
投入 指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	年度別事業費		65,570 千円	69,562 千円	64,898 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	12,686 千円	1,778 千円
一般財源		65,570 千円	56,876 千円	63,120 千円	
事務事業名				新規・継続	
県街路事業				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・8土木費・3都市計画費・3街路事業費				都市計画課	
投入 指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	年度別事業費		6,559 千円	426 千円	0 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		6,559 千円	426 千円	0 千円	



政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-2	社会基盤の整備と長寿命化を進めます

所 管	建設課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

社会基盤である道路や橋梁、河川は、必要な機能を維持するための修繕が中心となっており、事業要望による生活道路の整備や幹線道路の舗装改良、橋梁の修繕・耐震補強、河川の護岸保全など、計画的な整備ができていない状況にある。このような状況のなか、生活道路の整備は、新設や拡幅改良などは必要箇所の精査により道路整備を実施することとし、生活に密着した維持修繕として対応する必要がある。また、舗装改良や橋梁の修繕・耐震補強は、長寿命化修繕計画に基づき、より効果的に進める必要がある。

◆方針

目的
<p>市民生活に欠くことのできない道路や橋梁等の整備において、生活道路の新設や拡幅改良は、評価項目に基づき、効果的で効果のある整備を計画的に行い、即効性のある維持修繕を主体的に行い道路の安全性を確保する。また、幹線道路の舗装改良は長寿命化修繕計画に基づき計画的に行う。</p> <p>橋梁修繕等の整備は、将来への持続を考えた長寿命化修繕計画に基づき、効果のある整備を行う。</p>

◆令和2年度重点方針と目標

○社会基盤整備として、点検結果による舗装修繕計画に基づき舗装改良を実施する。橋梁は、1サイクル目の点検結果を踏まえた橋梁及び横断歩道橋修繕計画に基づき修繕を行う。

○生活道路等は、評価による順位に基づき事業を進める。

○空家対策は、特定空家等の解消を図るため、所有者に対し行政指導を行う。また、空家等所有者に対し解決に向けた支援を行う。

○地域の皆様との協働による道路管理をめざし、地域協働道ぶしんクリーン事業を進める。

○国土地籍調査は、4地区の調査を行うとともに、令和元年度に認証された1地区の登記を完了させる。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①生活道路の維持・修繕を行い、通行の安全性が確保された状態。</p> <p>②橋梁及び横断歩道橋等が、各長寿命化修繕計画に基づき適正に維持管理されている状態。</p>

◆実績

令和2年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装改良は、舗装長寿命化修繕計画に基づき、1,368mを実施した。</li> <li>・橋梁は、橋梁及び横断歩道橋長寿命化修繕計画に基づき、62橋の点検を実施した。常盤橋と美南ガ丘歩道橋の修繕工事を完成させた。</li> <li>・生活道路等の地域要望への対応は、266箇所、50%を実施した。</li> <li>・空家対策は、空き家所有者への支援として、無料相談会を開催した。</li> <li>・地域協働道ぶしんクリーン事業は、地域の方の活動により207件の実施となった。</li> <li>・国土地籍調査は、4地区の調査を行い、登記は1地区の実施となった。</li> <li>・令和元年東日本台風等による被災箇所に対し、令和元年度に引続き事業を実施した。</li> </ul>	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	道路改良・改修、維持修繕への対応割合						
設定理由	市民生活に密着した道路機能維持のため。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	46	計画	50	50	50	50	
		実績	50				
指標名	生活道路の維持・補修に対する市民満足度						
設定理由	市民の満足度が高ければ、環境施策が住民ニーズに沿っている割合が高いから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	45.5	計画	47	48	49	50	
		実績	45.3				
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針	維持
-------	----

<ul style="list-style-type: none"> <li>○舗装長寿命化修繕計画、橋梁長寿命化修繕計画等に基づき、施設の長寿命化、コストの縮減を目的に舗装改良及び橋梁等の修繕を実施する。</li> <li>○生活道路等の地域要望への対応は、5項目の基準による評価に基づいた優先順位により事業を実施する。また、維持補修は速やかな修繕工事の実施に努める。</li> <li>○特定空家等の所有者に対し、粘り強く指導を行うとともに、空家の適正な管理を促すため、相談会を開催する。</li> <li>○地域の皆様との協働による道路管理をめざし、地域協働道ぶしんクリーン事業を進める。</li> </ul>
--

◆個別計画

舗装長寿命化修繕計画／橋梁及び横断歩道橋長寿命化修繕計画／トンネル長寿命化修繕計画／耐震改修促進計画／公営住宅等長寿命化変更計画／空家等対策計画
--

◆特記事項

--

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
国土地籍調査事業		継続	4			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・1土木管理費・2国土調査費		建設課	1:無			
事業概要	地籍調査未実施地区18km <sup>2</sup> において ・土地を一筆ごとに所在、所有者、地番及び地目の調査を実施 ・境界及び地積に関する測量 ・地籍簿と地籍図を作成					
	投入指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
特定財源	年度別事業費	50,905 千円	52,019 千円	66,826 千円		
	国・県支出金	22,125 千円	25,609 千円	34,875 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他	24 千円	25 千円	34 千円		
	一般財源	28,756 千円	26,385 千円	31,917 千円		
活動指標	境界立会いする面積	ha	計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			実績	25	23	35
	登記完了する地区数	地区	計画	1	2	1
			実績	1	1	1
令和2年度 実績			特記事項			
・中央9区、中央11区、中央12区については計画どおりに進めることができた。 ・中央11区については、新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言が大きく影響し、地権者を対象とした地元説明会の開催中止、一筆地調査(境界立会い調査)の開始時期の遅れ、現地に来ることのできない県外在住地権者等との書面及び写真による調査等、例年とは異なる対応を行わざるを得ない状況であったが、工期末までに年度事業を完了することができた。			平成27年度以降の境界立会いを実施する地区(中央4区以降)は、DID(人口集中地区)のため地権者の権利意識が強く、境界の確認及び同意について難航することが想定される。			
目標の実現に向けた今後の取り組み						
令和3年度において新型コロナウイルス感染状況が拡大した場合は、中央12区の一筆地調査(境界立会い調査)及び中央11区の閲覧等、地権者等と直接接する業務に支障が出る恐れがある。3地区の調査を同時進行で進めるなかで、工期末までに確実に年度事業を完了するためのスケジュール管理を徹底するほか、新しい調査方法(図面や写真による境界の確認方法)を取り入れる等の工夫をしていく。					今後の方針	維持

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
道路台帳補正業務費		継続	10			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・1道路橋梁総務費		建設課	1:無			
事業概要	道路法第28条に基づく道路台帳の調整を行う。道路の現況を把握し道路台帳へ反映させる。 ・所有権移転がなされていない認定道路敷地(未登記道路)が存在しており、すでに道路として利用されている部分を寄附いただくなど、市民の理解と協力を得ながら積極的に解消を推進する。					
	投入指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
特定財源	年度別事業費	14,926 千円	15,016 千円	16,774 千円		
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他	0 千円	0 千円	0 千円		
	一般財源	14,926 千円	15,016 千円	16,774 千円		
活動指標	正確な道路台帳の補正	回	計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			実績	1	1	1
	未登記解消筆数	筆	計画	100	100	50
			実績	26	38	58
令和2年度 実績			特記事項			
道路台帳補正漏れを把握し、適正に補正を行った。 未登記道路敷地58筆を解消した。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
市道新設、廃止、変更に伴う道路台帳の整備を行う。 把握している未登記道路について処理を進める。 境界立会いや国土調査業務で新たに判明した未登記道路敷地について解消を図る。					今後の方針	維持

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
市道維持補修事業		継続	5			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・2道路維持費		建設課	1:無			
事業概要	パトロール等による状況把握と維持補修作業を組み合わせ、建設施設の機能保全を図る。					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	51,267 千円	43,934 千円	47,561 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	5,664 千円	5,646 千円	5,642 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	区の道ぶしんクリーン事業参加率	区	計画	68	68	68
			実績	67	65	65
	施設破損個所の30日以内での作業完了率	%	計画	100	90	90
			実績	100	92	93
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>道ぶしんクリーン事業参加団体数 84団体(内自治区65区)、申請件数207件</li> <li>施設破損個所の30日以内作業完了率 受付698件 内30日以内作業完了652件 完了率93.4%</li> </ul>			平成30年度まで活動指標としていた「支障木伐採要望の対応率」を削除し、「施設破損箇所の30日以内での作業完了率」を追加する。(施設の延命と利用上の安全を確保するためには、早期の補修対応が不可欠であるため。)			
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>地域との協働による道路管理を目指すため、道ぶしんクリーン事業の取り組み拡大を推進する。道路施設の劣化・破損の状況により適切な処置をすみやかに行う。</p>					今後の方針	維持

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
市道除融雪事業		継続	—			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・2道路維持費		建設課	1:無			
事業概要	指定する除融雪路線の積雪や凍結による危険を、協力業者との調整により排除する。生活道路の積雪や凍結による危険を、委託業者との調整と地域の協力により排除する。					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	71,099 千円	81,527 千円	72,105 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	除融雪実施路線の延長	km	計画	216	216	216
			実績	216	216	216
	業務への協力業者数	事業所	計画	36	36	36
			実績	36	34	33
令和2年度 実績			特記事項			
除雪業務28社、融雪剤散布業務10社との調整により、対応路線の除融雪業務を実施した。			■H31年度計画より、活動指標に「業務への協力業者数」を追加(協力業者数は業務量に影響し、これを確保することが業務の早期完了に繋がるから)			
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>現状水準の維持並びに安定的・継続的な除融雪体制の確保に向け、契約方法及び経費等の検討を行う。</p>					今後の方針	維持

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
市単道路等整備事業		継続	6				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	1:無				
事業概要	・市道の維持補修、道路改良、舗装改良、側溝改良など						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	248,886 千円	216,934 千円	216,183 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	90,000 千円	45,000 千円	65,000 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		158,886 千円	171,934 千円	151,183 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	実施率(実施数/要望数)		%	計画	23	23	23
				実績	22	25	20
				計画			
実績							
令和2年度 実績			特記事項				
122箇所、施工延長L=4,233mの道路維持補修工事、道路改良工事を行った。建設事業申請205箇所の改良要望に対して40箇所実施。			要望件数が増えており実施率が低下している。				
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・改良事業については、総合的に検討し効率的、計画的かつ早期に事業効果をあげられるように努める。</li> <li>・維持補修事業については、速やかな修繕工事の実施に努める。</li> <li>・各施設の長寿命化計画等に基づき修繕事業を進め持続可能な交通網の構築を行う。</li> <li>・事業要望があり、起債等対象となる箇所は、適性及び投資効果等を検討し財源確保に努める。</li> <li>・佐久平駅アクセス道路新設整備推進協議会、長野県及び佐久市等と連携し佐久平駅アクセス道路の整備構想の策定を進める。</li> </ul>							

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
市単河川整備事業		継続	8				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	1:無				
事業概要	小諸市準用河川N=10箇所L=28,200mのうち、老朽化した護岸等の河川整備工事を実施する。						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	4,807 千円	11,039 千円	24,196 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	2,000 千円	23,500 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		4,807 千円	9,039 千円	696 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	施工延長		m	計画	50	50	50
				実績	20	46	73
				計画			
実績							
令和2年度 実績			特記事項				
河川改修工事 L=73m (準)栃木川 河川堤防兼管理道路取得のための用地測量 L=690m (準)笹沢川 河川浚渫工事 L=115m (準)北川、(普)大石沢川							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年全国的に多発している豪雨災害による被害を少なくし、想定される浅間山の火山泥流による被害を防ぐため、国土強靱化を図り、引き続き河川改修及び浚渫工事を実施する。</li> </ul>							



政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
市単交通安全通学路整備事業		継続	7				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	1:無				
事業概要	区からの要望及び道路管理者が必要とする箇所の安全施設を工事する。 ・通学路歩道設置工事 ・グリーンベルト、区画線設置工事 ・防護柵、安全施設、警戒標識設置工事						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	28,346 千円	30,304 千円	25,706 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	28,346 千円	30,304 千円	25,706 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	通学路緊急合同点検に基づく整備実施率(実施数/要望数)		%	計画	60	60	60
				実績	53	49	71
				計画			
				実績			
令和2年度 実績			特記事項				
歩道設置工事 N=4件 令和元年度通学路点検箇所 N=38箇所のうち27箇所 歩道設置工事 L=178m 防護柵等設置工事 L=173m 区画線及びグリーンベルト設置工事 L=7,062m 道路反射鏡設置工事 N=43箇所							
目標の実現に向けた今後の取り組み ・引き続き定期的な通学路合同点検を実施し、通学路対策箇所の歩道整備等の安全対策を進める。 ・未就学児の散歩コース等の歩行空間の交通安全対策も考慮し事業実施を行う。							
					今後の方針	維持	

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
社会資本整備総合交付金事業(橋梁)		継続	1				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	1:無				
事業概要	橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕及び耐震補強を実施する。 道路法の改正により、橋梁については5年に1回の頻度で点検を行う。						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	54,508 千円	108,887 千円	123,390 千円		
		地方債	28,492 千円	59,806 千円	66,819 千円		
		その他	8,000 千円	37,200 千円	45,200 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	主要な施設を跨ぐ橋梁耐震化実施個数(全6橋)		橋	計画	1	1	1
				実績	0	0	1
	橋梁修繕実施個数(全17橋)		橋	計画	1	1	1
				実績	0	0	2
令和2年度 実績			特記事項				
橋梁修繕 美南ガ丘歩道橋(耐震)、常盤橋 橋梁修繕設計 0114横断歩道橋他3橋 橋梁点検 N=62橋							
目標の実現に向けた今後の取り組み ・長寿命化計画に基づき、災害に強く、持続可能な道路網の安全性を確保し、施設の長寿命化並びに修繕等に係る費用の縮減を図る。							
					今後の方針	維持	

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
社会資本整備総合交付金事業（舗装改良）		継続		2			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課		1:無			
事業概要	小諸市舗装長寿命化計画に基づき、小諸市幹線道路の舗装改築工事を実施する。						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	66,798 千円	31,892 千円	9,023 千円		
		地方債	33,339 千円	15,752 千円	4,491 千円		
		その他	30,000 千円	14,100 千円	4,000 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		3,459 千円	2,040 千円	532 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	施工延長		m	計画	1,500	1,500	1,500
				実績	522	305	142
				計画			
実績							
令和2年度 実績			特記事項				
舗装改良工事 L=142m 市道0141号線(森山 千曲ビューライン)							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
・舗装修繕の内示率が低い(R2年度5%)ことから、公共施設等適正管理推進事業も活用しながら舗装長寿命化計画を進める。							

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
社会資本整備総合交付金事業(交通安全)		継続		3			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課		1:無			
事業概要	通学路点検実施により要危険箇所となった箇所の歩道設置を行う。						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	47,121 千円	27,920 千円	23,708 千円		
		地方債	25,911 千円	15,276 千円	13,017 千円		
		その他	19,000 千円	11,200 千円	9,500 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		2,210 千円	1,444 千円	1,191 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	歩道改良延長		m	計画	150	150	150
				実績	125	140	63
				計画			
実績							
令和2年度 実績			特記事項				
歩道改良工事 L= 63m 市道0146号線(和田) 測量設計業務 L=730m 市道0146号線(市)							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
・引き続き小学校等に通う児童等が利用する通学路及び生活道路における交通事故を防止するため、安全・安心な歩行空間の整備を実施する。							

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
都市公園維持管理事業		継続	13			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・3都市計画費・4都市公園事業費		都市計画課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園の維持管理</li> <li>遊具点検</li> <li>公園施設長寿命化計画の実施</li> <li>公園クリーン活動奨励金の交付</li> </ul>					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	21,390 千円	16,229 千円	53,809 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	45,605 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	1,866 千円	2,315 千円	3,957 千円	
一般財源		19,524 千円	13,914 千円	4,247 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	職員による日常点検及び清掃	回	計画	492	492	492
			実績	492	492	492
	専門業者による遊具定期点検	回	計画	18	18	18
実績			18	18	18	
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>都市公園11箇所、緑地等30箇所(管理協定箇所除く)の公園管理業務を実施した。</li> <li>都市公園8箇所、緑地10箇所の遊具点検を実施した。</li> <li>公園クリーン活動奨励金の交付N=9箇所。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> <li>都市公園9箇所(小諸公園、唐松公園、大手門公園、あいおい公園を除く)、緑地30箇所(管理協定緑地を除く)の維持管理業務を実施する。</li> <li>都市公園7カ所、緑地10箇所の遊具について、職員による遊具点検を1回/月実施し、専門業者による遊具点検を1回/年実施する。</li> </ul>					今後の方針	維持

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
住宅管理費運営費		継続	-			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・4住宅費・1住宅管理費		建設課	1:無			
事業概要	<b>【運営費】</b> 公営住宅法、小諸市営住宅条例等に基づき、低所得者のための市営住宅(768戸)を供給する。					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	42,058 千円	52,115 千円	53,219 千円	
		地方債	3,255 千円	4,456 千円	4,297 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	38,803 千円	47,659 千円	48,922 千円	
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			計画			
			実績			
			計画			
実績						
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の破損等に対し、迅速で確実な補修を行った。</li> <li>囃団地2棟の外壁及び屋根の改修工事を行った。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
老朽化が進む、緑ヶ丘・中松井団地の集約計画の検討を早急に検討する。					今後の方針	維持

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
住宅耐震化事業		継続	11			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・4住宅費・2住宅政策費		建設課	1:無			
事業概要	市内の既存住宅・建築物の耐震診断とその結果に基づく耐震改修を促進する。					
投入指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費	1,320 千円	4,149 千円	850 千円		
	特定財源 国・県支出金	990 千円	2,667 千円	487 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他	0 千円	0 千円	0 千円		
	一般財源	330 千円	1,482 千円	363 千円		
活動指標	指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	精密耐震診断件数	件	計画	20	20	20
			実績	5	3	10
	耐震改修事業補助件数	件	計画	4	4	4
			実績	1	4	0
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>精密耐震診断件数 10 件</li> <li>耐震改修補助件数 0 件</li> </ul>			建築物の耐震改修の促進に関する法律の一部を改正する法律(耐震改修促進法)が平成25年11月25日に施行され、「全ての住宅・建築物に対して耐震診断・耐震改修を努力義務化」、「大規模な特定建築物、地震対策上特に重要な建築物に対して、耐震診断を義務化、結果公表」等、耐震化促進のための規制が強化された。			
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> <li>広報もろや市のホームページ等により積極的に事業の周知を図る。</li> <li>過去に耐震診断を実施した所有者に対し、耐震改修を案内する。</li> </ul>						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
特定空家対策事業		継続	9			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・4住宅費・3空家対策費		建設課	1:無			
事業概要	空家建築物等の実態把握を行ない、所有者の特定・改善依頼をはじめ、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、空家等対策計画の策定・特定空家の除去等を行う。					
投入指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費	207 千円	9,317 千円	112 千円		
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他	0 千円	0 千円	0 千円		
	一般財源	207 千円	9,317 千円	112 千円		
活動指標	指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定空家等の除却	棟	計画	3	3	3
			実績	1	1	1
			計画			
			実績			
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>空家に関する無料相談会を実施した。</li> <li>小諸市空家対策協議会を開催、小諸市空家対策計画の見直しを行った。</li> </ul>			小諸市空家等対策計画の見直しを行う。			
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> <li>状態の悪化、対応済み等、空家の更新を随時行う。</li> <li>無料相談会を実施し、所有者の責任による空家の適正な管理を促す。</li> </ul>						

事務事業名				新規・継続	
土木総務費運営費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・8土木費・1土木管理費・1土木総務費				建設課	
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	年度別事業費		7,915 千円	9,719 千円	8,916 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	1,146 千円	1,647 千円	1,260 千円
一般財源		6,769 千円	8,072 千円	7,656 千円	
事務事業名				新規・継続	
土木総務費給与費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・8土木費・1土木管理費・1土木総務費				建設課	
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	年度別事業費		128,620 千円	137,020 千円	126,562 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		128,620 千円	137,020 千円	126,562 千円	
事務事業名				新規・継続	
事務費運営費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計・1事務費・1事務費・1事務費				建設課	
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	年度別事業費		6,884 千円	6,014 千円	6,171 千円
	特定財源	国・県支出金	899 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		5,985 千円	6,014 千円	6,171 千円	
事務事業名				新規・継続	
住宅新築資金等貸付事業債元金償還金				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計・2公債費・1公債費・1元金				建設課	
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	年度別事業費		2,495 千円	2,270 千円	1,303 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		2,495 千円	2,270 千円	1,303 千円	
事務事業名				新規・継続	
住宅新築資金等貸付事業債利子償還金				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計・2公債費・1公債費・2利子				建設課	
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	年度別事業費		197 千円	110 千円	4 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		197 千円	110 千円	4 千円	
事務事業名				新規・継続	
道路橋梁河川災害復旧事業				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・11災害復旧費・2公共土木施設災害復旧費・1公共土木施設災害復旧費				建設課	
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	年度別事業費		44,815 千円	110,136 千円	252,856 千円
	特定財源	国・県支出金	15,373 千円	21,835 千円	145,703 千円
		地方債	8,400 千円	69,800 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	76,300 千円
一般財源		21,042 千円	18,501 千円	30,853 千円	

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-3	安全な水道水の安定供給と持続的な安定経営を進めます

所 管	上水道課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

小諸市の水道水源は湧水と深井戸のみで、水量・水質ともに安定した供給を行っているが、高度成長期以降に整備された施設が法定耐用年数を迎え始め、水道施設の老朽化が進み更新が必要である。加えて近年の異常気象による水質悪化の懸念もあり、対策を図る必要がある。

水源地や配水池など施設数が多く複雑化しており、維持管理における技術の継承など人材育成も図る必要があったため、公民共同企業体を設立し、指定管理者制度により一部の業務を委託した。

今後、人口減少問題により料金収入の減少も見込まれ、施設の更新や浄化施設の新設とその財源確保が大きな課題となっている。

◆方針

目的
小諸市上水道事業基本計画に基づく小諸市上水道事業実施計画により、事業推進を図り、将来も持続可能な水道事業の基盤を構築する。
公民共同企業体「株水みらい小諸」へ指定管理制度により委託した一部業務を、厳格に業務管理を行うことで、水道水の安定供給と事業の持続的な安定経営を図るとともに使用者に適切な情報提供を行い、水道事業の理解度を深める。

◆令和2年度重点方針と目標

- ①小諸市上水道事業基本計画に基づく小諸市上水道事業実施計画の実行
- ②小諸市水道施設等の指定管理者である公民共同企業体「株水みらい小諸」に委託した水道施設の維持管理業務、料金徴収関連業務、給水申請関連業務等について、良好な運営が出来ているか事業主体として確実なモニタリングの実行

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①小諸市上水道事業基本計画に基づく実施計画により計画的に施設の整備を行い、将来も持続可能な水道事業の基盤を構築するとともに、計画の進捗状況のチェックや業務状況の確認を行い、効率的な計画実施が図れる状態。
②事業主体として小諸市水道施設等の指定管理者への厳格な業務管理(モニタリング)を行い、効率的な施設の維持管理が図れる状態。
③適切な情報提供により、水道使用者の水道事業に対する理解度が深まる状態。

◆実績

令和2年度実績

- ①小諸市水道事業実施計画に基づき、配水管の更新L=617m、導水管の新設L=62m行った。野馬取水源導水・浄水施設の基本設計業務委託を行い、交付金事業による浄化施設整備に向けた。菱野簡易水道事業の第2次経営変更を行い、水源及び浄化方法の変更を行った。
- ②小諸市水道施設等の指定管理者への厳格な業務管理(モニタリング)を毎月行い、業務の運営状況、収納状況の確認を行った。
- ③使用者との意見交換会として位置付けた市民懇談会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	安定した水道水の供給に対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	市民の満足度が高ければ、安定した水道水の供給ができていない割合が高いから。						
算式	総収支比率(総収益/総費用)×100					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	83.5	計画	84.0	84.5	85.0	85.0	
		実績	85.8				
指標名	総収支比率						
設定理由	100以上が望ましく、計画的な経営ができていないか分かるから。						
算式	総収支比率(総収益/総費用)×100					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	117.8	計画	116	104	106	105	
		実績	106.9				
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

- ①小諸市水道事業実施計画に基づいた施設の更新、設備整備により水道事業の基盤強化を図る。
- ②公民共同企業体(株)水みらい小諸の業務状況について、モニタリングを厳格に行い、効率的な事業運営を図る。

◆個別計画

地域防災計画/上水道事業基本計画/水道ビジョン/上水道事業実施計画

◆特記事項

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-3 安全な水道水の安定供給と持続的な安定経営を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
小諸市水道事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
水道		上水道課	1:無			
事業概要	・小諸市水道事業					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	1,146,883 千円	1,639,848 千円	1,396,854 千円	
		地方債	0 千円	84,086 千円	0 千円	
		その他	0 千円	428,100 千円	155,500 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	4,724 千円	
	一般財源		1,146,883 千円	1,127,662 千円	1,236,630 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	総収支比率		計画	110	106	106
			実績	119.03	117.8	106.9
	管路更新率		計画	0.7	0.5	0.3
実績			0.1	0.4	0.1	
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上水道事業実施計画に基づき、配水管、導水管の更新を行った。</li> <li>・野馬取水源導水・浄水施設の基本設計委託を行った。</li> <li>・菱野簡易水道事業の第2次経営変更認可を行い、水源及び浄水方法の変更を行った。</li> <li>・指定管理により上水道事業の一部を委託した公民共同企業体「榑水みらい小諸」が業務を開始し1年半が経過した。毎月モニタリングを行い、業務の運営及び収納状況の確認し、指導助言を行った。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小諸市上水道実施計画に基づいた施設の更新、設備整備を行うと共に、公民連携により水道事業の基盤強化を図る。</li> <li>・公民共同企業体榑水みらい小諸の水道利用者への定着をめざすと共に、業務状況についてモニタリングを厳格に行い、効率的な事業運営を図る。</li> </ul>						





政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-4	安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

所 管	危機管理課
関 連	生活環境課
関 連	消防課
関 連	市民課
関 連	—
関 連	—

#### ◆現状と課題

災害による被害を減らすため、市内68区に自主防災組織の設立を目指しているが、「共助」のための自主防災組織については、未だ組織化されていない行政区がある。今後発生しうる大規模自然災害に備えて、被害を最小限にとどめる「自助・共助」を中心とした「減災」の取り組みが必要である。また、災害時の防災、減災のため、地域防災の要である消防団員の災害対応能力の向上を図るとともに、消防団と自主防災組織との連携を強化していく必要がある。

高齢社会となるなかで、高齢者の交通事故が増えている。交通事故を減らす取り組みと併せて、高齢者に対する啓発活動を強化していく必要がある。

防犯については、犯罪の未然防止の役割を果たしている防犯カメラの設置や運用、LED防犯灯への切替や、耐用年数が10年と言われているLEDの交換時期の検討が必要である。

#### ◆方針

目的
<p>地域全体で安全安心なまちをつくるため、関係機関との連携強化と住民意識の高揚を図り、すべての市民が安全で安心して生活できる住みよい地域社会の実現を進める。</p> <p>あらゆる災害に対応するため、佐久広域連合消防本部が行う消防・救急業務を支援するとともに、消防団活動の充実を図る。</p> <p>交通事故の発生件数を減らすため、関係機関・関係団体と連携し、啓発活動を推進していく。</p>

#### ◆令和2年度重点方針と目標

・災害に備え、市内全区で自主防災組織の組織化を進め、将来的に全ての区で自主的に避難訓練が行なわれることを目指し、住民学習会等のサポートを行い、住民意識の高揚を図る。・大規模自然災害に対する小諸市の脆弱性を克服し、事前防災及び減災その他迅速な復旧等に資する施策を総合的に実施するための「小諸市国土強靱化地域計画」を策定する。・新消防庁舎の業務が始まり、自助・共助・公助の実践的な訓練を行う防災の拠点としての運用を図る。また、大規模な災害への対応が急務となっていることから、消防団や各種団体及び民間事業所も含め災害対応訓練を行い、更なる連携の強化及び協力体制の構築を図る。

#### ◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①すべての地域で様々な手段により防災行政情報を入手でき、市民が避難方法や避難場所等を熟知して、防災・防犯意識が高まっている状態。</p> <p>②交通事故発生件数が減少し、かつ、交通死亡事故がゼロになり、安全で安心に暮らせる状態。</p> <p>③災害時に備え、地域において、自助・共助の理念のもと地域防災力の向上に積極的に取り組んでいる状態。</p>

◆実績

令和2年度実績	
<p>・市内各区が避難所を開設・運営するためのマニュアルを作成し、インターネットを活用した連絡網システム「オクレンジャー」により、区役員に防災情報などを発信することで、連携を強化することができた。・新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの自主防災組織が防災訓練を実施することができなかった。</p> <p>・関係機関等と連携し、交通安全啓発活動を実施した。</p> <p>・消防庁舎について防災拠点としての運用を開始した。また、消防団活動については、災害対応以外の訓練・点検等、感染防止の観点から自粛せざるを得ない状況であったが、感染予防対策を行った上で一部訓練を実施した。</p>	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	防災への取り組みに対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	市民の満足度が高ければ、防災施策が住民のニーズに沿っている割合が高いから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	71	計画	72	73	74	75	
		実績	74.9				
指標名	交通事故死者数						
設定理由	死亡事故がなくなれば、交通安全に関する啓発が適切に行われ、市民の安全が確保されていると考えられるから。						
算式						単位	人
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	計画	0	0	0	0	
		実績	2				
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針	拡充
-------	----

- ・アナログ放送終了(令和4年11月)に伴い、市民の皆さんに向けては、複数の方法で情報が入手できるよう、広報こもろ、ケーブルテレビ、出前講座など様々な手段を使い周知する。特に、メール配信サービスのユーザー登録者数を増やす。
- ・コロナ禍での自主防災組織主体の訓練については、市から具体的な訓練を例示して実施できるよう進めていく。
- ・交通死亡事故ゼロを目指し、引き続き関係機関等と連携し交通安全啓発活動を実施する。
- ・消防団員の感染予防対策を徹底し、状況に合わせた活動を実施していく。
- ・消防庁からの助言に基づき、消防団員の処遇改善等について取組を進めていく。

◆個別計画

地域防災計画／国土強靱化地域計画／交通安全基本計画

◆特記事項

--

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
防犯事業		継続	4			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・2総務費・1総務管理費・1一般管理費		危機管理課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>区等の要望に基づく防犯灯の設置</li> <li>区等による小諸市安全で安心なまちづくり事業(防犯活動等)に係る経費への支援</li> <li>防犯関係機関・団体との連携による組織横断的な活動の推進</li> </ul>					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	18,405 千円	20,570 千円	19,363 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	18,405 千円	20,570 千円	19,363 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	既設防犯灯に占めるLED防犯灯の割合	%	計画		82	84
			実績	82	84	38.6
	設置基準に基づく防犯灯の設置率	%	計画	100	100	100
実績			100	100	100	
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>各区からの防犯灯設置要望に基づき、新設3灯及び白熱灯等からLEDへの切替55灯、合計58灯の工事を実施した。</li> <li>防犯灯及び街路灯合計で4,963灯の電気料補助金を各区へ交付した。</li> <li>区自主防災組織等の申請に基づき、安全で安心なまちづくり事業補助金を交付した。(西原区、東山区、市町区、一ツ谷区 全4件)</li> </ul>			活動指標(アウトプット)の「事業実施数に対する安全で安心なまちづくり事業補助金交付件数の割合」は、達成できていることから、平成30年度から「既設防犯灯に占めるLED防犯灯の割合」に変更した。			
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> <li>既設防犯灯(白熱灯等)から消費電力の少ないLED防犯灯への切替について、現行のペースでは全灯交換までに30年以上を要することから、切替を促進する方法とその費用対効果を検証して、早期に全灯交換が完了できるよう検討する。</li> <li>引き続き区等への周知を行って、安全で安心なまちづくり事業補助金の適正交付に務め、地域の安全・安心の確保を支援する。</li> </ul>						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
セーフコミュニティ推進事業		継続	7			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・2総務費・1総務管理費・1一般管理費		危機管理課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティ推進協議会を中心とした安全・安心に関する取り組みの一体的な推進</li> <li>外傷調査委員会で分析したデータに基づく各対策委員会の活動の推進</li> <li>セーフコミュニティ活動に対する啓発事業の実施</li> <li>セーフコミュニティ認証都市との交流</li> </ul>					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	475 千円	456 千円	415 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	475 千円	456 千円	415 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	推進協議会・各対策委員会・外傷調査委員会の開催回数	回	計画	15	9	9
			実績	7	7	3
	市民フォーラム、講演会の開催回数	回	計画	2	2	2
実績			2	1	0	
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティの組織体制によらずとも取り組みを行うことができていることから、令和2年度をもって推進協議会等を廃止(条例改正)し、セーフコミュニティ推進事業についても終了した。</li> </ul>			活動指標(アウトプット)の「推進協議会・各対策委員会・外傷調査委員会の開催回数」は、対策委員会の統合により令和元年度から目標値を変更した。			
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業廃止</li> </ul>						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
防災対策費運営費		継続		2			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・2総務費・1総務管理費・10防災対策費		危機管理課		2:有			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災計画、業務継続計画の見直し、修正</li> <li>・総合防災訓練の年1回の実施</li> <li>・全68区の自主防災組織設立、防災訓練実施、住民支え合いマップ作成・更新の推進</li> <li>・防災講演会、研修会、学習会の定期開催と防災教育充実の推進</li> <li>・防災対策用備蓄品の備蓄推進</li> </ul>						
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	年度別事業費		7,434 千円		5,454 千円		
	特定財源	国・県支出金		0 千円		770 千円	
		地方債		0 千円		0 千円	
		その他		105 千円		1,221 千円	
一般財源		7,329 千円		5,449 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	総合防災訓練の実施		回	計画	1	1	
				実績	1	1	
	自主防災組織を設立した区の数		区	計画	62	63	
実績				61	61		
令和2年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、総合防災訓練は中止した。</li> <li>・地域防災力の向上を図るため、各区へ「自主防災ファイル」を、また、菱野区及び宮沢区へは自主避難計画(地区防災マップ)を配布した。</li> <li>・防災対策用品(食料、資材等)について、備蓄計画に基づく他、新型コロナウイルス対策用品等の備蓄も実施した。</li> </ul>				活動指標(アウトプット)の「自主防災組織の設立・運営支援の実施」は、実施できているため、平成30年度から「自主防災組織を設立した区の数」に変更した。			
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全68区に自主防災組織が設立されるよう、設立支援を行う。</li> <li>・各区へ配布した「自主防災ファイル」が有効に活用されるよう案内するとともに、いただいた意見を参考に、随時、追加見直しを実施する。</li> <li>・防災備蓄品倉庫の学校敷地内への設置について、関係機関から意見聴取を行い可否の検討をする。</li> </ul>					今後の方針	維持	

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
防災情報基盤整備・運用事業		継続		8			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・2総務費・1総務管理費・10防災対策費		危機管理課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災行政無線設備等の保守管理・点検の実施</li> </ul>						
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	年度別事業費		10,078 千円		10,016 千円		
	特定財源	国・県支出金		0 千円		0 千円	
		地方債		0 千円		0 千円	
		その他		639 千円		616 千円	
一般財源		9,439 千円		9,331 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	防災情報関連機器の点検実施			計画	実施	実施	
				実績	実施	実施	
	アナログ放送終了に伴う代替伝達手段の整備			計画	選定	計画	
実績				情報収集	情報収集		
令和2年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災情報伝達設備の点検保守管理を行い、防災情報を的確に市民へ伝達した。</li> <li>・アナログ放送終了に伴う代替手段について、整備方針(案)に基づき確認検討を行った。</li> </ul>				活動指標(アウトプット)に平成30年度から「アナログ放送終了に伴う代替伝達手段の整備」を追加した。			
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に基づき防災情報伝達設備の定期的な点検保守管理を行う。</li> <li>・アナログ放送終了に伴う代替手段について、最終方針を決定し予算措置する。</li> </ul>					今後の方針	維持	

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
交通安全対策事業		継続	3			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・2総務費・7交通安全費・1交通安全費		生活環境課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全運動の実施</li> <li>小諸市交通安全運動推進協議会の運営</li> <li>小諸交通安全協会への負担金の交付</li> <li>交通安全教室の開催</li> <li>小諸市交通指導員の委嘱</li> </ul>					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	1,572 千円	1,854 千円	1,764 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	1,572 千円	1,854 千円	1,764 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	小諸市における年間交通事故死者数	人	計画	0	0	0
			実績	0	1	2
	小諸市における運転免許自主返納者数(警察署年統計)	人	計画	80	80	80
実績			126	164	132	
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>関係団体等と連携して交通安全運動を実施した。</li> <li>高齢者を対象者に交通安全教室(サボカー体験)を実施した。</li> </ul>						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> 交通死亡事故ゼロを目指し、引き続き関係団体と連携し交通安全啓発活動を実施する。 特に事故の被害に遭いやすい子どもや高齢者等に向けて、対象者に応じた交通安全教室を開催する。					今後の方針	維持

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
県民交通災害共済事務		継続	10			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・2総務費・7交通安全費・1交通安全費		生活環境課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民交通災害共済への市民の加入促進</li> <li>交通事故被害者への見舞金の支給</li> </ul>					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	2,140 千円	2,166 千円	2,116 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	1,806 千円	1,769 千円	2,116 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	県民交通災害共済加入率	%	計画	66	66	66
			実績	65	64	62
			計画			
実績						
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>加入促進のため、共済事業ならではの掛金に対する見舞金の高さをPRした。</li> <li>交通事故被害者の立ち直りを支援するため見舞金の支払いを行った。</li> </ul>						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> 交通事故被害者の立ち直りを支援するため、見舞金の支払いを行う。 加入促進のため、共済事業ならではの利点などをふまえた制度の周知を行う。					今後の方針	維持

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
消費者行政事業		継続	9		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・1社会福祉費・5市民相談事業費		市民課	1:無		
事業概要	消費生活センターの運営 ・専門相談員による相談・あっせん及び消費者教育などの被害予防啓発 ・自家消費用食品の放射性物質検査				
投入指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別事業費	1,357 千円	2,188 千円	1,412 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	679 千円	1,381 千円	783 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	678 千円	807 千円	629 千円		
活動指標	指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	相談員相談日数	日	計画	160	160
			実績	150	149
	被害防止等啓発件数	件	計画	25	25
			実績	23	22
令和2年度 実績			特記事項		
<p>・消費問題にかかる相談に応じ、問題解決への助言、あっせんを実施した。          ・広報への「消費者トラブル情報」の掲載やSNSの活用、コミュニティテレビこもろにおける「消費者トラブル情報」の発信を行い市民へ広く注意喚起を行った。          ・市内の小・中学校、高校へ消費者教育リーフレット等資料提供を行い、各教育機関において児童及び生徒向けの啓発活動を実施した。          ・高齢者支援を行っている民生委員、社会福祉協議会、包括支援センターへ「消費者トラブル情報」の提供を行った。また、高齢者支援機関と消費生活センターの相互の連携を図るため、包括支援センターとのミーティングを実施した。          ・専門相談員及び担当職員レベルアップと、日々変化する悪徳商法等への対応のための技法を取得するため、県センター所属の相談員によるセンター訪問事業を活用した。最新の消費者トラブル情報の取得のため国民生活センターからの情報、PIOネット情報の活用を行った。また、Dラーニングによる研修を受講した。</p>					
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多発する悪徳商法やネット通販等のトラブルに市民が巻き込まれないよう、広報、SNS、メディア等において注意喚起、情報提供を行う。</li> <li>・高齢者の消費者トラブルや特殊詐欺被害の防止のため、通話録音装置の普及を行う。</li> <li>・高齢者の消費者トラブルや特殊詐欺被害の防止のため、各区で行われている健康達人クラブ等において啓発活動を行う。障害を持つ方が消費トラブルに巻き込まれるケースが増加しているため、障害施設等への啓発活動を行い、支援の連携体制を整える。</li> </ul>					
			今後の方針	維持	

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
佐久広域連合負担金		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・9消防費・1消防費・1常備消防費		消防課	1:無		
事業概要	佐久広域連合規約により消防施設の設置及び管理に関する事務について、関係市町村が負担割合により負担する市町村分担金。				
投入指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別事業費	317,966 千円	337,023 千円	341,931 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	4,900 千円	4,689 千円	4,517 千円		
一般財源	313,066 千円	332,334 千円	337,414 千円		
活動指標	指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			計画		
			実績		
			計画		
			実績		
令和2年度 実績			特記事項		
<p>①水防工法・ポンプ運用・規律訓練、上信越道トンネル非常用設備研修          官民一体型テロ対策訓練、火災防衛連携訓練          ②消防学校 ポンプ操法指導員講習、特殊災害科、幹部科、救急高度化研修入校。          ③消防避難訓練(51件)・救急法講習(一般16件)(普通7件)(上級1件)延べ349名受講。</p>					
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、感染予防対策を行った上で、各種訓練、研修、講習会を持続可能にしていく。</li> </ul>					
			今後の方針	維持	

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
非常備消防費運営費		継続	5			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・9消防費・1消防費・2非常備消防費		消防課	1:無			
事業概要	消防組織法に基づき市町村に設置される消防機関、小諸市消防団の運営・管理に関する事業。					
投入指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費	82,305 千円	66,507 千円	81,694 千円		
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	5,483 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他	20,903 千円	6,585 千円	19,629 千円		
一般財源	61,402 千円	59,922 千円	56,582 千円			
活動指標	指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	消防団員数	人	計画	850	850	
			実績	832	845	
			計画			
		実績				
令和2年度 実績			特記事項			
<p>①消防団の運営について、市関係各課と法的、財政的な面で協議を継続中。 消防団分団長会議を通して協議を継続中。</p> <p>②小諸市消防団が長年の地域活動を認められ、総務省消防庁長官表彰を授与される。また、三映電子工業株式会社が消防団活動への協力が顕著であることが認められ総務省消防庁消防団協力事業所表彰を授与。ケーブルテレビ、市内広報誌、新聞を通じて広報を実施。</p> <p>③風水害対策として、水防工法、小型動力ポンプ運用訓練を実施。</p>						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の指針を鑑みて、小諸市関係各課と調整を図り、消防団の処遇改善に取り組む。</li> <li>・メディアを通しての広報を充実させる。</li> <li>・訓練方法を工夫しながら、感染防止対策を徹底した上で訓練の充実を図る。</li> </ul>					今後の方針	維持

政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
消防施設費運営費		継続	6			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・9消防費・1消防費・3消防施設費		消防課	1:無			
事業概要	消防組織法に基づく小諸市消防団の施設及び各区の消防施設整備に関する事業。					
投入指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費	11,842 千円	11,445 千円	30,658 千円		
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
	地方債	9,100 千円	8,000 千円	1,900 千円		
	その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	2,742 千円	3,445 千円	28,758 千円			
活動指標	指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	小型動力消防ポンプ更新数	台	計画	2	2	
			実績	2	2	
	小型動力ポンプ積載車更新数	台	計画	1	1	
実績			1	1		
令和2年度 実績			特記事項			
<p>・小型動力消防ポンプ1台(第4分団6部)を更新した。</p> <p>・第3分団西原部について、区所有で小型動力ポンプ積載車を配備。</p> <p>・区が実施する消防施設整備事業に対し補助金の交付。(消火栓器具23区・詰所改修工事1区)</p>						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防ポンプ車、小型動力ポンプ積載車、小型動力ポンプは更新計画に基づき適正に配備する。</li> <li>・更新計画は状況により適宜見直しを図る。</li> <li>・消防施設補助事業については、地域の状況を考慮し的確に進めていく。</li> </ul>					今後の方針	維持



政策 5 安心して快適に暮らせるまち  
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
消防庁舎整備事業		継続	1				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・9消防費・1消防費・3消防施設費		消防課	1:無				
事業概要	耐震強度不足と老朽化に伴う小諸消防署庁舎の移転建て替え。						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	44,869 千円	485,073 千円	653,273 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	39,800 千円	464,000 千円	211,400 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
		5,069 千円	21,073 千円	441,873 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	庁舎建設の検討		回	計画	12	12	—
				実績	48	45	3
				計画			
実績							
令和2年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>5月20日に引き渡しを受け、引っ越し作業を実施。</li> <li>5月26日に旧庁舎の閉庁式、並びに新庁舎の開庁式を実施。</li> <li>6月7日に新庁舎の落成式を実施。</li> </ul>							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	縮小	
繰越した事業について、適正に進めていく。							

